

ウクライナ国内避難民向け住宅完成

(株)ダイワテック ソーラーハウス建設で電力・住宅不足解消へ貢献

JICAが実施する「ウクライナ国復興に向けた民間セクター参画促進プロジェクト」にて、愛知県に本店を構える株式会社ダイワテックは、ロシアによる侵略開始から、2月で4年の節目を迎えるにあたり、国内避難民向けにソーラーハウス2棟をウクライナのホストメリ市に完成させました。ダイワテックは、ウクライナ政府関係者や国際機関等を招き、1月15日に現地でソーラーハウスのホストメリ市への引渡し式を行います。



ダイワテックの完成予定のソーラーハウス

ロシアによる侵略から4年が経過する現在も、電力施設、一般市民の住居が破壊され、ウクライナでは電力・住宅ともに圧倒的に不足しています。このような状況で、約370万人が国内避難民として避難を余儀なくされています。ダイワテックは、24時間安定した電力供給を可能にすべく、商業電源と太陽光を組み合わせたモジュールハウスを設計・建設しました。生活空間にはエアコン、LED照明、高速Wi-Fiを完備し、これまで暮らしてきた住環境を離れても極力ストレス負荷のないライフスタイルを支えます。さらに、一部の壁には日本製漆喰を使用し、湿度調整や消臭、抗ウイルス・抗菌、耐カビ性といった機能を備え、健康的で清潔な環境を提供します。この住宅は、国内避難民の電力・住宅問題解決に貢献し、ウクライナの復興を支える日本企業が提案する新しい選択肢です。持続可能なエネルギーと快適な住環境で、人々の生活を再び豊かにすることを目指します。帰国後にダイワテックのご担当者やJICA関係者へ直接インタビューしていただく形式で、ぜひ取材をご検討下さい。

■施工研修

日 程	令和8年1月15日（木）11時～12時（ウクライナ時間）
場 所	ウクライナ国ホストメリ市
内 容	テープカット、関係者スピーチ、住居案内
出 席 者	中込・駐ウクライナ日本大使、ウクライナ関連省庁関係者、国際ドナー、ダイワテック、JICA中東・欧州部ウクライナ支援室、JICAウクライナ事務所他

JICA「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」概要

https://www.jica.go.jp/activities/schemes/priv_partner/index.html

株式会社ダイワテック（愛知県名古屋市）

[株式会社ダイワテック – SDGs に貢献するダイワテックのソーラーシステムハウス](#)

ダイワテック提案段階計画（2025年5月時点）

https://www2.jica.go.jp/ja/priv_sme_partner/document/1642/Uk249028_summary.pdf

【取材申込方法】

取材希望日、所属、氏名、電話番号、メールアドレス、を明記の上、メールにてお申し込みください。

【申込先】	【事業に関するお問い合わせ】
JICA 中部センター 企業連携課 担当：川口 TEL : 052-533-1387 E-mail : Kawaguchi.AlyneSati@jica.go.jp	JICA 中東・欧州部ウクライナ支援室 担当：宇田・鳩 TEL : 03-5226-6846 E-mail : ukraine_minren@jica.go.jp